組立説明書

スピーカーキット

型名 SX-WD5KT

本機は、キャビネットと振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この**「組立説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に③ページの「安全上のご注意」、④ページの「組み立てを始める前に」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1702-002B

もくじ

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には、この組立説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 注意

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

■水場の近くなど、部品に水がかかる恐れのある場所では組み立てない

・火災・感電の原因となります。

■作業机、部品の上や近くに水などの入った容器を置かない

・花びん、コップ、化粧品、薬品などの水の入った容器を置かないでください。
　こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

■工具の使用には充分注意する

・ニッパー、カッターナイフなど刃物によるケガ・事故に注意してください。
・はんだごては使用後コンセントから電源コードを外してください。
・はんだごてを使用するときはやけどに注意してください。
・はんだごて、接着剤および塗料はそれぞれの取扱説明書に従って使用してください。

■小さなお子様のいる場所では組み立てない

・工具にさわったり､部品やビニール袋を口に入れるとケガや窒息の原因となります。
・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

■換気を充分に行う

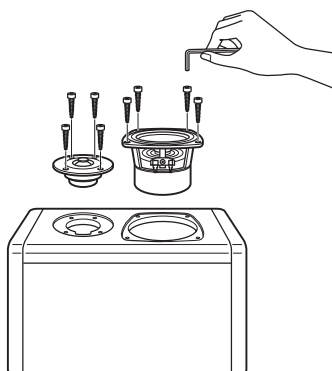
・はんだごておよび接着剤を使用するときは換気を充分に行ってください。

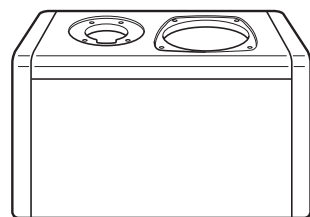
組み立てを始める前に

ご注意

・キャッシュカード、フロッピーディスクなどの磁気を利用した製品や時計をスピーカーユニットの近くに置かないでください。スピーカーユニットの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

本機は木材を安定させるための処理（目止め）を部分的に行っています。このためキャビネットにツヤがある箇所がありますが、品質上は問題ありません。

■付属品をキャビネットから取り出す

キャビネットから付属品を取り出します。

・付属品はキャビネットの中に収納されています。
・六角レンチを使ってスピーカーユニットを取り外し、下側（ウーハー）の穴から付属品を取り出してください。
・六角レンチは同梱されていません。3 mmのものをご用意ください。

キャビネット

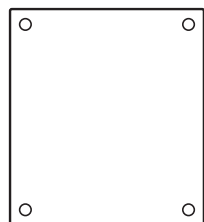
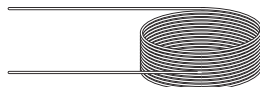
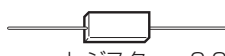
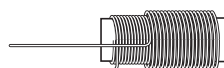
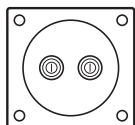
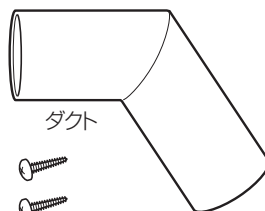
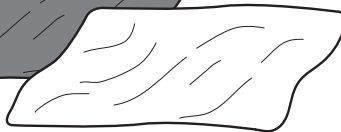
スピーカーユニット
（ツィーター）

スピーカーユニット
（ウーハー）

スピーカーユニット用スクリュー（8）
M４×20mm

・取り外したスピーカーユニットおよびスクリューは、なくさないように保管してください。
・この製品には付属品の他に、組立説明書（本書）、取扱説明書およびネットワーク参考資料が添付されています。
・キャビネットの底面には固定用のインサートナットが埋め込まれています。

■付属品を確認する

キャビネットには次の付属品が収納されています。すべて揃っていることをお確かめください。

※１　赤いコード（白チューブ付き）と黒いコードの２本が、スピーカー端子用コードです。
※２　青いチューブがあるものが、ツィーター用コードです。
※３　スクリューの頭が大きい方が、ネットワークボード用スクリューです。

■組み立てに必要な工具

次の工具は同梱されていません。組み立ての前にご用意ください。

工　具	備　考	参　照
六角レンチ	3mmのものをご用意ください。	組み立てを始める前に（4ページ） スピーカーユニットを取り付ける（16ページ）
瞬間接着剤	仮固定用。ゼリー状のものを使うと作業しやすくなります。	ネットワークを組み立てる（7ページ）
はんだごて		
ヤニ入りはんだ		
ニッパー	リード線およびコードをカットします。	
ラジオペンチ	リード線をねじり合わせるときに使います。	
テスター		
ゴム系接着剤	固定用。	ネットワークを組み立てる（7ページ） ダクトを取り付ける（13ページ）
プラスドライバー	No. 2をご用意ください。	ネットワークを取り付ける（12ページ）
木工用ボンド		ダクトを取り付ける（13ページ） 吸音材を張る（14ページ）
はさみ		吸音材を張る（14ページ）
定規		

キャビネットを塗装する場合は、次の工具もご用意ください。

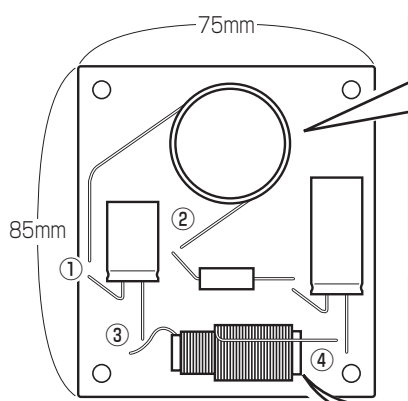
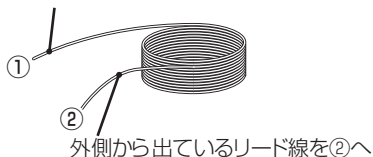
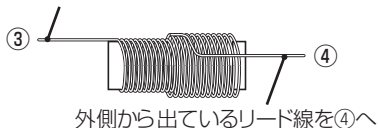
工　具	備　考	参　照
サンドペーパー	荒削りは木工用 #300 ～ 500、仕上げは木工用 #600 ～ 1000 を目安にしてください。	キャビネットを塗装する（18ページ）
布（綿布）	サンド粉を拭き取ります。	
筆	溝に入ったサンド粉の清掃に使います。	
木工用パテ	キャビネットにキズを付けてしまったときに使用します。種類によっては色むらの原因となりますので、キャビネットの色に合ったものをご用意ください。	
木工用塗料	色付きの木工用ニスをご使用になると、木目を活かして仕上げることができます。	

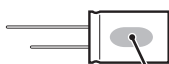
組み立て

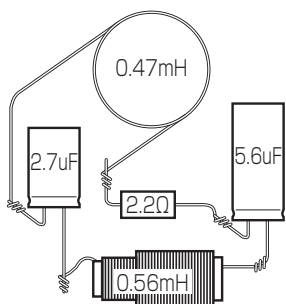
キャビネットを塗装する場合は、必ずスピーカーを組み立てる前に行ってください。組み立てた後で塗装すると、スピーカーを正常にご使用できなくなる可能性があります。塗装のしかたは、18ページの「キャビネットを塗装する」をお読みください。

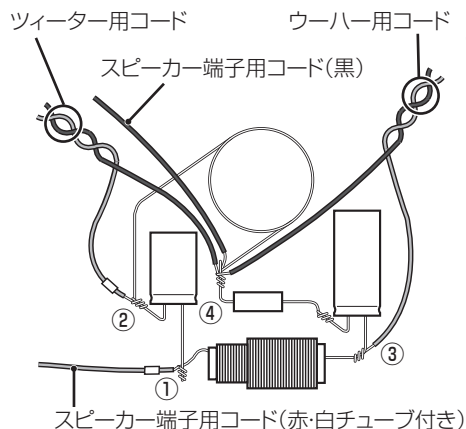
ご注意

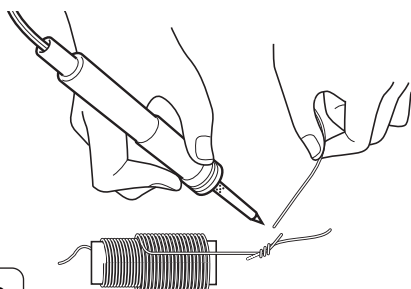
・火気のない場所で作業を行ってください。
・接着剤は注意書きに従って使用してください。
・接着剤を使うとき、はんだづけをするときは換気を充分に行ってください。

■ネットワークを組み立てる

1　**上図のようにネットワークボードにネットワーク素子を並べて、瞬間接着剤で仮固定します。**

・4 箇所のスクリュー穴に瞬間接着剤が付かないように、注意してください。

ご注意

・４箇所のスクリュー穴が隠れないように気をつけて、ネットワーク素子を並べてください。
・電解コンデンサ（短）および電解コンデンサ（長）には極性がありません。

２　ネットワーク素子のリード線をねじり合わせます。

・仮固定が取れないようにネットワーク素子を押さえながら、リード線をねじり合わせてください。リード線が固いときは、ラジオペンチをご使用ください。
・コイル A とコイル B はリード線のはんだあげ（銀色）の部分をねじってください。

３　ネットワーク素子のリード線にコードをつなぎます。

・コードはツィーター用コード、ウーハー用コード、スピーカー端子用コードの３種類があります。６箇所をねじり合わせてください。
- スピーカー端子用コード（赤・白チューブ付き）を①へ
- ツィーター用コード（赤·青チューブ付き）を②へ
- ウーハー用コード（赤）を③へ
- すべての黒いコードを④へ

４　はんだごてで､ネットワーク素子のリード線とコードをつないだところをはんだづけします。

・はんだごての先が、コードの被覆に当たらないように注意してください。

5　余ったリード線およびコードをニッパーでカットします。

・カットしたリード線がネットワークボードに残らないように、取り除いてください。

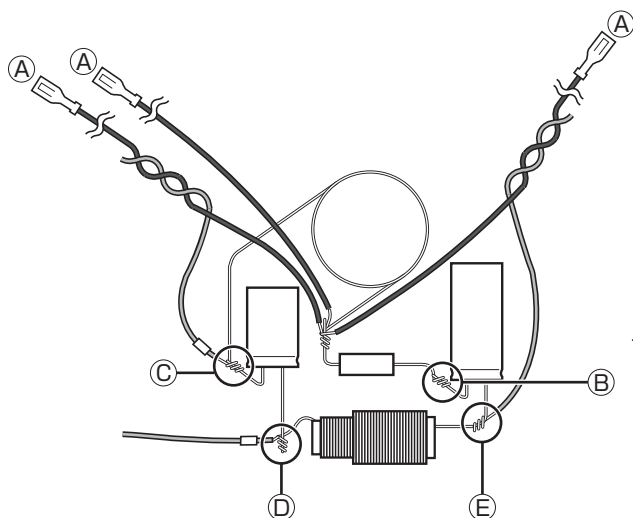
・リード線をカットした後は、はんだづけした箇所やリード線が浮かび上がらないように、ネットワークボードに押し付けてください。

6　テスターで、導通および非導通の確認をします。

・導通および非導通を確認してから、次の手順へ進んでください。

導通を確かめる

1: Ⓐ（黒いコード）の３本すべて

2: Ⓐのいずれか１本およびⒷ

3: ⒹおよびⒺ

4: Ⓐのいずれか１本およびⒸ

お知らせ

・抵抗値の目安はそれぞれ下記となります。

２：約2.２Ω

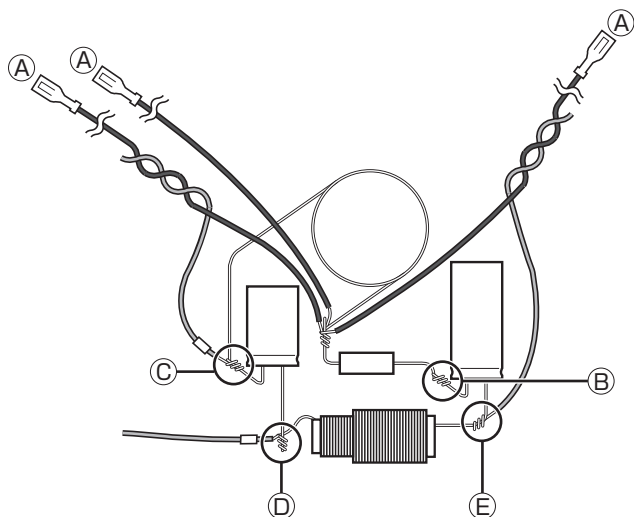
３：約0.１Ω

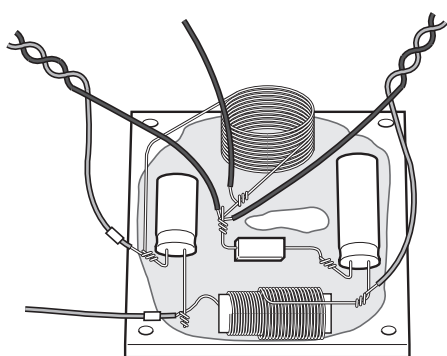
４：約1.６Ω

ご注意

・抵抗値が大幅に異なる場合は、前述の手順を再度お確かめください。回路に不具合があるか、ショートしている可能性があります。回路の再確認を終えたら、抵抗値を再度お確かめください。

非導通を確かめる

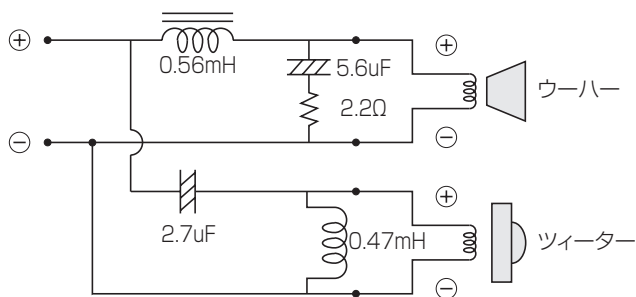
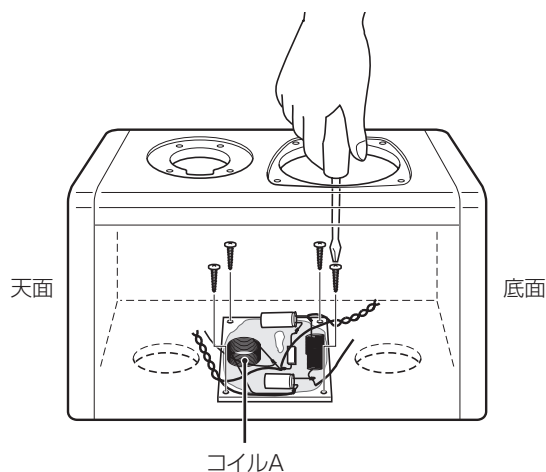
1: Ⓐ（黒いコード）のいずれか１本およびⒺ
2: ⒸおよびⒹ

ご注意

・導通してしまっている場合は、前述の手順を再度お確かめください。回路に不具合があるか、ショートしている可能性があります。回路の再確認を終えたら、非道通であることを再度お確かめください。

7　ゴム系接着剤で固定します。

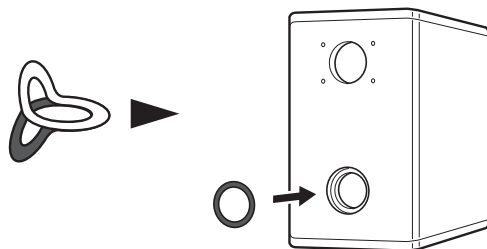
- 接着剤はネットワーク素子の側面から多めに付けてください。
- はんだづけをした箇所、コイルのリード線なども固定してください。
- 作業後は、一晩そのまま置いておいてください。

ご注意

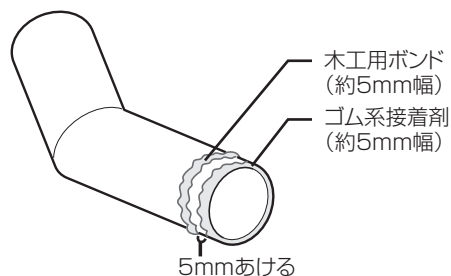
- はんだごてを片付けてから、ゴム系接着剤をご使用ください。
- ネットワークボードのスクリュー穴とコードの被覆に接着剤が付かないようしてください。接着剤が付いたときは、すぐに拭き取ってください。
- ネットワークボードから接着剤が垂れないようにしてください。

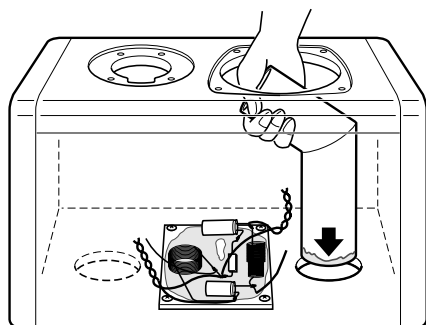
回路図

■ネットワークを取り付ける

ネットワークボードをキャビネットの奥面に取り付けます。

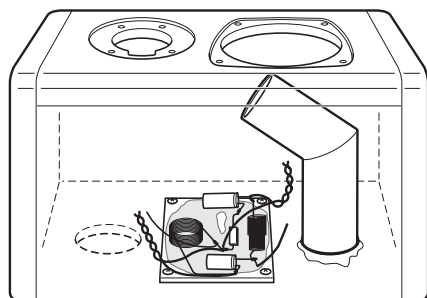
・上図のように、コイル A を天面側にして、ネットワークボードをキャビネットに取り付けてください。
・ネットワークボードのスクリュー穴にネットワークボード用スクリューを 4 つ入れてから、ネットワークボードをキャビネットの中に入れ、キャビネット背面のスクリュー穴と合わせて留めてください。

■ダクトリングを張る

キャビネットの背面下部のダクト穴にダクトリングを張ります。

・ダクトリングから台紙をはがし、粘着面をダクト穴に張ってください。

■ダクトを取り付ける

1　ダクトの長い方の先端に木工用ボンドとゴム系接着剤を付けます。

・エアー漏れ防止のため、接着剤は多めに付けてください。

2　ダクトをダクト穴に入れます。

・図のように向きを合わせて、垂直に取り付けてください。
・左右に回し、木工用ボンドとゴム系接着剤を馴染ませてください。
・スピーカーの穴から見たとき、木工用ボンドがはみ出るくらい、手順１で多めに付けてください。

3　木工用ボンドとゴム系接着剤が固まるまで放置します。

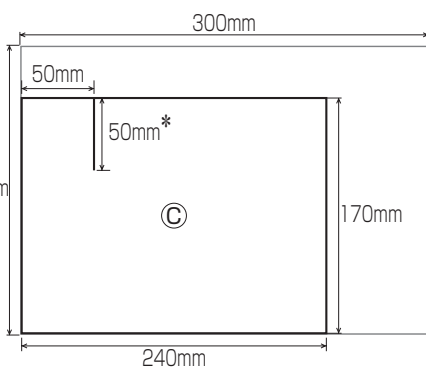
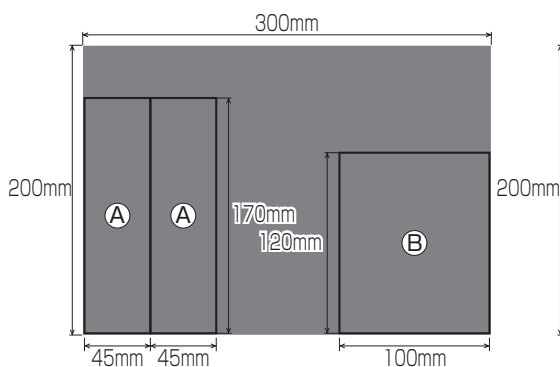
・寝かせた状態で１時間ほどお待ちください。

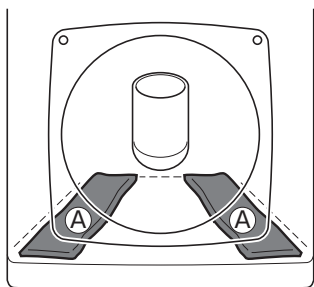
■吸音材を張る

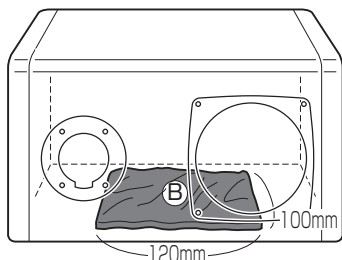
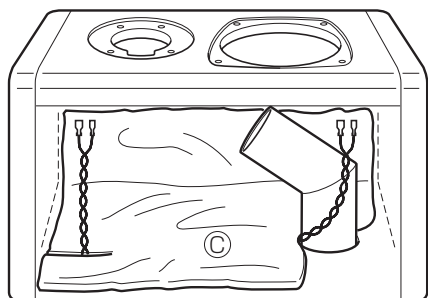
吸音材は黒（粗毛フェルト）と白（ウール）の２種類があります。

1　定規で寸法をはかり、はさみで吸音材をカットします。

黒（粗毛フェルト）
Ⓐ 170mm × 45mm・・２枚
Ⓑ 120mm × 100mm・・１枚

白（ウール）
Ⓒ 170mm × 240mm ＊・・１枚
＊ 横 50mm の位置から縦 50mm 程度の切り込みを入れます。

2　カットした吸音材Ⓐをキャビネットの内部の底面に張り付けます。

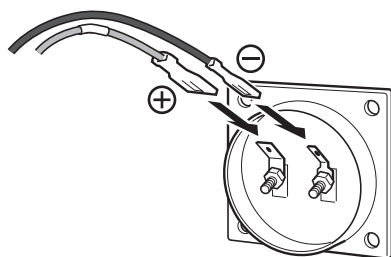
・木工用ボンドをご使用ください。

3　吸音材Ⓑをキャビネット内部の左側面の中央に張り付けます。

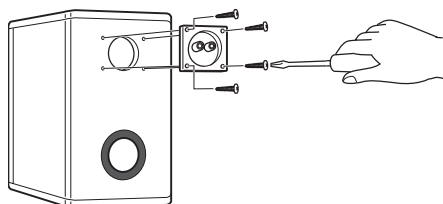
・木工用ボンドをご使用ください。

お知らせ

・吸音材の量と張る位置によって音質が変化します。

4　**吸音材Ⓒをキャビネット内部の奥面および右側面に張り付けます。**

・吸音材Ⓒ上部の切り込みからツィーター用コードを出してください。
・吸音材Ⓒ下部からウーハー用コードを出してください。
・スピーカー端子用コードは、吸音材Ⓒの下にしてください。次の手順で、キャビネット背面上部の穴から外に引き出します。
・位置を確かめながら、キャビネットの右側面に少しずつ木工用ボンドを付けてください。

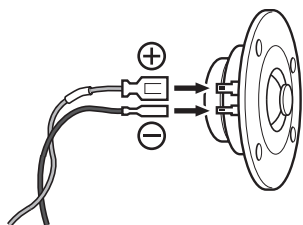
■スピーカー端子を取り付ける

1　**スピーカー端子とスピーカー端子用コードを接続します。**

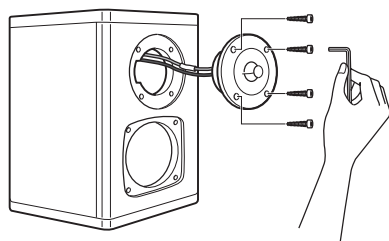
・キャビネットの背面上部の穴からスピーカー端子用コードを引き出し、スピーカー端子に接続します。
・赤いコードに白いチューブがあることをお確かめください。
・赤いコードを大きい端子に、黒いコードを小さい端子にはめ込んでください。「カチッ」と音がします。

2　**スピーカー端子をスピーカー端子用スクリューでキャビネットに取り付けます。**

・スピーカー端子がななめ上を向くようにして取り付けてください。
・プラスドライバーをご使用ください。

■スピーカーユニットを取り付ける

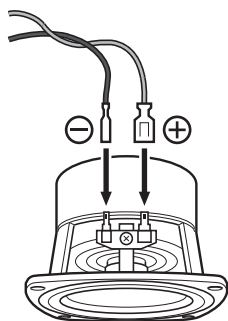
ご注意

・キャッシュカード、フロッピーディスクなどの磁気を利用した製品や時計をスピーカーユニットの近くに置かないでください。スピーカーユニットの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

1　ツィーターとツィーター用コードを接続します。

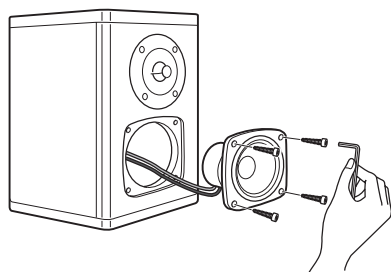
・キャビネットの前面上部の穴からツィーター用コードを引き出し、ツィーターに接続します。
・赤いコードに青いチューブがあることをお確かめください。
・赤いコードを大きい端子に､黒いコードを小さい端子にはめ込んでください。「カチッ」と音がします。

2　ツィーターをスピーカーユニット用スクリューでキャビネットに取り付けます。

・キャビネット左側の切り込みに端子の向きを合わせて、ツィーターを差し込んでください。
・六角レンチをご使用ください。

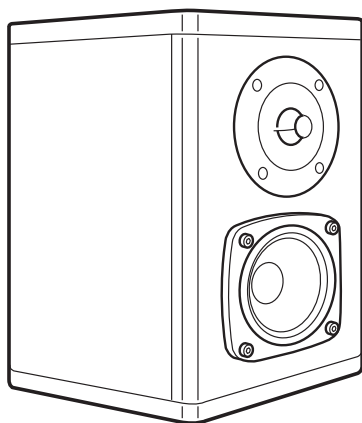
ご注意

・スクリューが磁気によりユニットに引き寄せられる場合があります。スクリューがユニットに当たるとユニットが破損する可能性がありますのでご注意ください。
・ユニットの裏側（磁気回路）にスクリューなどの金属が付く場合があります。取り付ける前に確認してください。

3　ウーハーとウーハー用コードを接続します。

・キャビネットの前面下部の穴からウーハー用コードを引き出し、ウーハーに接続します。

・赤いコードを大きい端子に、黒いコードを小さい端子にはめ込んでください。「カチッ」と音がします。

4　ウーハーをスピーカーユニット用スクリューでキャビネットに取り付けます。

・ウーハーの端子が下側にくるように差し込んでください。

・六角レンチをご使用ください。

これで組み立ては終わりです。
製品の取り扱いについては別冊の取扱説明書をご覧ください。

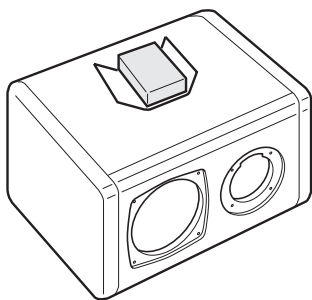
キャビネットを塗装する

キャビネットを塗装する場合は、必ずスピーカーを組み立てる前に行ってください。組み立てた後で塗装すると、スピーカーを正常にご使用できなくなる可能性があります。

ご注意

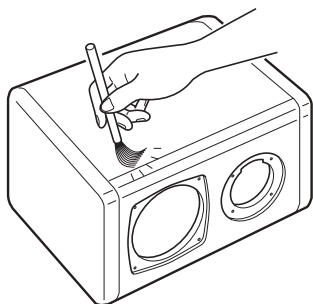
・換気を充分に行ってください。
・汚れても構わない場所、服装で作業してください。
・キャビネットが乾燥するまでは、ほこりが付きやすいので、ほこりが立たない場所で塗装してください。

パテ埋めについて

キャビネットの凹凸が気になったときは、パテ埋めで補正してください。パテ埋めは、必ずサンドペーパーでキャビネットを磨く前に行ってください。市販の木工用パテを使うと、より滑らかに仕上げることができます。
木工用パテの種類によっては色むらの原因となりますので、キャビネットの色に合ったものをご用意ください。

1　キャビネットの表面をサンドペーパーで磨きます。

・キャビネットの表面を触ったときに、デコボコがなく滑らかになるまで磨いてください。
・荒削り用のサンドペーパーで磨いた後に仕上げ用のサンドペーパーで磨くと、きれいに仕上げることができます。

お知らせ

・木工用サンドペーパーをご使用ください。
・木目の方向に沿ってサンドペーパーで磨いてください。キャビネットの面によって木目の方向が異なります。作業する前に確認してください。
・平面部はあて木を使うと平滑になります。

2　乾いた布でサンド粉をきれいに拭き取ります。

・溝に入ったサンド粉は筆を使うと、きれいに取ることができます。

3　キャビネットを塗装します。

・お使いになる塗料の注意書きに従って、塗装してください。

・色付きの木工用ニスをご使用になると、木目を活かして仕上げることができます。

「ウッドコーン」について

木製振動板「ウッドコーン」

ヴァイオリンやギター、ピアノ等、美しい音色を奏でる楽器の多くは木を使用しています。中でも無垢の木材は音の自然な減衰特性が特長で心地よい響きを生みます。
振動板の特性を評価する指標には「伝搬速度 (音を伝える速さ)」と「内部損失 (音を吸収する度合い)」があり、音の解像度やメリハリを高めるには、この相反する特性の値がともに大きく、バランスのとれた素材が理想とされています。この理想に近い素材が楽器にも使われている木材なのです。
今から 20 年前、一人の技術者が木の振動板を試作しました。扇形状の薄い木製シートを数枚張り合わせてコーン (円錐) 形状に造り上げた振動板は、オーディオ開発に携わる技術者の魂を揺り動かすほどの魅力的な音色でした。残念な事に、天然素材ゆえの品質、生産上の課題が大きく、量産化は実現できませんでした。
しかし、音楽への深い愛情とともに満足ということを知らない技術者の執念が、奇跡にも近い発想の転換を経て 20 年後、ついに量産化を実現させたのです。
このウッドコーンの能力を十二分に発揮させる為、チェリーの無垢板をスピーカーキャビネットに採用したほか、マグネットやボイスコイル、フレームはもちろん、ネットワーク部の音響パーツ一つ一つを厳選し、高品位な音質再生を目指しました。
かつて技術者の夢であったテクノロジーと長年にわたり培ってきたクラフトマンシップ。
音楽を愛する全ての方に感動が魂を揺さぶるエモーショナルなサウンドをお届けします。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120－2828－17**

携帯電話･PHS･FAXなどからのご利用は
電 話 (045)450－8950
FAX (045)450－2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1206NYMMODHCE